

内視鏡室

1. スタッフ構成

- 二宮 朋之(副院長、地域医療キャリア形成支援センター長、経営改革推進本部副本部長、地域医療連携室長、医療秘書管理室長)
専門分野:消化管
- 平岡 淳(消化器内科主任部長)
専門分野:肝臓
- 壺内 栄治(消化器内科部長、消化器病センター副センター長)
専門分野:消化管
- 宮田 英樹(消化器内科部長、内視鏡室長)
専門分野:胆・膵
- 多田 藤政(消化器内科部長)
専門分野:肝臓
- 黒田 太良(消化器内科部長)
専門分野:胆・膵
- 川村 智恵(消化器内科部長)
専門分野:消化管
- 兼光 梢(消化器内科部長)
専門分野:胆・膵
- 北畑 翔吾(消化器内科医長、IBD センター長)
専門分野:消化管
- 泉本 裕文(消化器内科医長)
専門分野:消化管
- 大西 慶(消化器内科医長、地域医療キャリア形成支援センター勤務)
専門分野:消化器全般
- 村上 大晟(消化器内科医長、地域医療キャリア形成支援センター勤務)
専門分野:消化器全般
- 福本 真惟(内科専門研修プログラム専攻医)
専門分野:消化器全般
- 松岡 海南(内科専門研修プログラム専攻医)
専門分野:消化器全般
- 松田 拓也(内科専門研修プログラム専攻医)
専門分野:消化器全般
- 村川 和也(専攻医)
専門分野:消化器全般
- 中村 綾花(内科専門研修プログラム専攻医)
専門分野:消化器全般
- 木村 優伽(専攻医)
専門分野:消化器全般
- 富増 真知子(看護長)
- 看護師:15名

2. 認定資格取得

資格名	資格取得者
日本消化器内視鏡学会消化器内視鏡専門医	二宮朋之、平岡淳、壺内栄治、宮田英樹、多田藤政、黒田太良、川村智恵、兼光梢、北畑翔吾、大西慶、村上大晟
日本消化器内視鏡学会上部消化管内視鏡スクリーニング認定医	泉本裕文、大西慶
日本消化器内視鏡学会大腸内視鏡スクリーニング認定医	泉本裕文、大西慶

3. 運営方針

正確な内視鏡診断を行い、最新で高度な内視鏡治療を安全に行うことを診療方針として、

- (1) 鎮静の導入による苦痛の少ない安全な上部・下部消化管内視鏡検査
- (2) 消化管領域(食道・胃・小腸・大腸)に対する緊急止血術
- (3) 内視鏡的粘膜切除術、内視鏡的粘膜下層剥離術による早期消化管癌の治療
- (4) 胆膵領域や消化管領域の超音波内視鏡を用いたの精査
- (5) 肝胆膵領域における閉塞性黄疸に対する緊急処置
- (6) 胆膵系悪性腫瘍に対するチューブおよびメタリックステント留置
- (7) 呼吸器領域の超音波内視鏡、極細径気管支鏡、局麻下胸腔鏡、硬性鏡での診断と治療
- (8) 新規薬の採用による大腸内視鏡の前処置の負担軽減等を積極的に行っています。

4. 実績

2013 年に新病院に移転したことにより、上下部消化管内視鏡室 4 室に加え、透視併用の内視鏡室 2 室、緊急内視鏡用検査室 1 室が設置され、緊急内視鏡検査も受け入れやすくなっています。また、超音波内視鏡装置が最新の機器に更新され、診断能力の向上につながっています。長年の懸案事項でした大腸内視鏡検査の前処置についても前処置室を設け、トイレも 7 室に増設されたことで、検査前の不安が軽減されました。さらに最近では自宅での前処置を行うことによって、検査の停滞を予防しています。

2021 年からは新規にスパイグラス(経口胆道鏡)を導入し、今まで碎石困難であった巨大結石なども内視鏡的に碎石可能となりました。さらに以前では処置困難であった術後の肝内結石に対しても、小腸内視鏡と経口胆道鏡を組み合わせることで碎石可能となり症例が増えています。

外科、病理の医師と共に合同症例カンファレンスを行うことによって、術前診断さらには術式の適正化などを術後病理と照らし合

わせることで振り返っています。さらに今後の症例に対しての診療方針等についての検討を行っています。また、専攻医や研修医に対する教育にも力を入れています。

2024 年度働き方改革の中で、いかに効率よくかつ安全に内視鏡検査および処置を遂行できるかを検討しながら、内視鏡チームとして取り組んでいます。

■ 内視鏡検査件数

- ・ 上部内視鏡:4,985件
- ・ 下部内視鏡:2,498件
- ・ ERCP: 724件
- ・ 小腸内視鏡:17件
- ・ カプセル内視鏡:65件
- ・ 気管支鏡:298件

検査項目	件数
食道スコープ	376
EIS	1
EVL	46
EISL	20
APC	1
食道拡張術	13
バイオブシー(人数)	243
止血術	8
メタリックス TENT 挿入	10
異物除去	12
ESD	24
胃・十二指腸スコープ	4,609
EMR	35
バイオブシー(人数)	1,030
ヘリコチェック	53
止血術 全体	86
異物除去	14
EUS	454
PEG	30
PEG 交換(内視鏡使用)	30
幽門拡張術	1
ESD	142
メタリックス TENT 挿入	7
イレウス管挿入	54
イレウス管造影	48
大腸スコープ	2,498
バイオブシー(人数)	1,435
止血術 全体	17
EMR	734
EUS	8
ESD	78
メタリックス TENT 挿入	36
イレウス管挿入	3
ERCP	724
EPBD	101
ERBD	290

ENBD	20
メタリックス TENT 挿入	65
EST	419
IDUS	46
EST 採石	175
小腸内視鏡	
小腸内視鏡(経口)	13
小腸内視鏡(経肛門)	4
小計	17
カプセル内視鏡	65
気管支スコープ	298
TBB	163
TBLB	40
擦過・洗浄	340
異物除去	5
BAL	57
トイレット	2
EBUS	186
合計	8,587

5. 2024 年度目標

昨年度を上回る検査件数の実施に加えて、安全な内視鏡検査および処置のために事故の防止、削減に努力していきます。

愛媛県全域での困難症例をできる限りカバーできるように努力していきます。

6. 学術関係

消化器内科の項参照。